

金子

與志雄さん

福島日産自動車会長
10月3日死去、91歳（老衰）

悼む



車販売だけでなく、果樹研究など多彩な分野で手腕を發揮した金子氏=2004年

激動の時代を駆け抜け、深さがあった」。同い年で本県経済の発展に貢献した。何事も興味を持ったら親交の深かった元福島商工突き詰める性格で、本業の会議所副会頭の小林忠道さん(91)は人柄をしのぶ。自動車販売だけでなく、果樹の研究や乳製品の安定供給など多彩な分野で手腕を發揮した。【21面に本記】

千葉農業専門学校園芸科（現千葉大園芸学部）卒業後、祖父が興した福島日産自動車に入社。1958（昭和33）年から約39年間、社長を務めた。小林さんは「当

車販売以外でも手腕

時、日産がトヨタを上回る珍しい県だった。いわきの工場も彼の功績が大きいとみている」と述懐する。

福島青年会議所の活動にも尽力。福島乳業会長を務めたほか、リング栽培も手掛けた。昭和6年生まれの県幹部や企業経営者らと「昭六会」をつくり、異業種の交流も深めた。福島日産自動車社長で孫の與志雄さん(35)は「現場主義で、整備士の仕事場を見てから出勤していた」という祖父の姿を今も思い起す。

（鈴木健人）